

新病院建設についての市民ワークショップを開催

◎政策推進課 ☎36・7191

市では「新市立島田市民病院建設基本構想」の策定を進めています。基本構想では、市民病院の現状や取り巻く環境について調査・分析を行うとともに、新病院の機能や規模、建設場所やスケジュールなど、新病院建設に関する基本的なことを決定します。

4月19日には、新病院に対する市民の思いやご意見を伺うため、市民ワークショップを開催しました。ここでは、「広い駐車場を確保してほしい」「障害者に配慮した施設を作ってほしい」「島田市民病院だけでは担えない機能を補うために相談機能の充実が必要で

ある」「次の建替えに向けて、30年後の将来人口を考慮した規模にしてほしい」などといった意見が出されました。

また、4月3日と24日には有識者合同ヒアリングを開催し、専門的な見地から医療に携わっている有識者の皆さんからも、ご意見をいただきました。市民病院は、市内に唯一の病院であり、私たちの命と健康を守る大切な施設です。これからも、地域の基幹病院として、市民の拠り所としてあり続けたいと考えています。この後、基本構想骨子を取りまとめ、5月29日から6月30日までパブリックコメントを実施し、7月末に基本構想を策定する予定です。

市民病院の震災被災者支援活動に対して感謝状

◎市民病院 ☎35・2111

4月16日、東日本大震災の被災者支援活動を行った団体などに対する厚生労働大臣感謝状の伝達式が静岡県庁で行われ、大須賀副知事から島田市民病院に感謝状が手渡されました。

市民病院では、県からの要請を受け被災地の岩手県宮古市に医師・看護師・薬剤師・医療相談員による医療救護班を派遣し、避難所の巡回診療や往診などの業務に当たりました。

また、呼吸器内科医師1人を仙台市の東北労災病院へ派遣したほか、看護



服部病院事業管理者と医療救護班メンバー

師2人を宮城県石巻市へ派遣し、避難所において災害支援ナースとして活動しました。

小中学生の「ありがとう体験記3」を発行

◎学校教育課 ☎46・5630

市教育委員会では、市内の小中学生の体験をまとめた「ありがとう体験記3」を発行しました。

これは市教育委員会の「人に役に立つ活動をする事によって、人から感謝される時、自分も相手も嬉しい気持ちになる」という学びを広げていきたい」という願いが込められています。370点の応募があり、教育委員

が51点を選び、掲載しました。A4版30ページの体験記は、図書館で閲覧することができます。ぜひご覧ください。



「広報しまだ」が全国広報コンクールに3年連続入賞

◎広報課 ☎36・7118

公益社団法人日本広報協会は、5月8日に平成26年全国広報コンクールの審査結果を発表し、「広報しまだ11月号」が3年連続入賞（平成24年1席、平成25年特選）を果たしました。

このコンクールは、全国の自治体が昨年中に発行した広報紙・掲載写真、公開した広報映像などを対象とし、表現力や企画力、デザイン性などが審査されます。

今年1月に開催された静岡県広報コンクールにおいて、広報紙(市)部門で最優秀賞を受賞した11月号は、全国広報コンクールに推薦され、同部門61点の中から3席を受賞。富士市で開催される第51回全国広報広聴研究大会において表彰されます。

今後も分かりやすく、市民の皆さんに親しまれる広報紙づくりに励んでいきます。取材に伺った際は、ご協力をお願いいたします。



広報紙(市)部門/広報しまだ11月号